

經 濟 学 部

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
	<b>必修科目</b>					
5101	演 習 I	1	必	4	近 藤 仁	
5102					水 谷 重 秋	
5103					村 松 久良光	
5104					櫻 井 健 吾	
5105					杉 山 俊 治	
5106					須 磨 千 穎	
5107					程 島 次 郎	
5108					家 本 博 一	
5109					中 矢 俊 博	
5110					林 尚 志	
5251	経 済 原 論 I (ミクロ経済学)	2	必	4	近 藤 仁	前期(週2回)
5255	経 済 原 論 II (マクロ経済学)	2	必	4	村 松 久良光	後期(週2回)
5201	演 習 II	2	必	4	花 井 敏	
5202					村 松 久良光	
5203					織 田 重 治	
5204					櫻 井 健 吾	
5205					末 重 正 行	
5206					須 磨 千 穎	
5207					田 原 昭 四	
5208					家 本 博 一	
5209					山 田 正 次	
5210					林 尚 志	
5301	演 習 III	3	必	4	花 井 敏	
5302					近 藤 仁	
5303					水 谷 重 秋	
5304					村 松 久良光	

科目 コード	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考					
5305	演 習 III	3	必	4	櫻 井 健 吾						
5306					末 重 正 行						
5307					杉 山 俊 治						
5308					須 磨 千 穎						
5309					田 原 昭 四						
5310					荒 井 好 和						
5311					程 島 次 郎						
5312					中 矢 俊 博						
5313					大谷津 晴 夫						
5314					渡 邊 頼 純						
5315					山 田 正 次						
5401					演習Ⅳおよび卒業論文		4	必	4	花 井 敏	
5402										近 藤 仁	
5403	水 谷 重 秋										
5404	村 松 久良光										
5405	織 田 重 治										
5406	櫻 井 健 吾										
5407	末 重 正 行										
5408	杉 山 俊 治										
5409	須 磨 千 穎										
5410	田 原 昭 四										
5411	荒 井 好 和										
5412	家 本 博 一										
5413	中 矢 俊 博										
5414	大谷津 晴 夫										
5415	渡 邊 頼 純										
5416	山 田 正 次										

科目 コード	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
	<b>選 択 科 目</b>					
	<b>経 済 学 科 目</b>					
5592 5593	経済データ処理入門 1, 2	1・2・3・4	選	2	近 藤 仁	前期
5594 5595	経済データ処理入門 3, 4	1・2・3・4	選	2	近 藤 仁	後期
5591	経 済 数 学	2・3・4	選	4	皆 川 正	(本年度休講)
5506	経 済 統 計 学	2・3・4	選	4	程 島 次 郎	隔年
5541	経 済 政 策 論	2・3・4	選	4	杉 山 俊 治	
5561	経 済 史 総 論	2・3・4	選	4	櫻 井 健 吾	前期
					須 磨 千 穎	後期
5584	経 済 思 想 史	2・3・4	選	4	橋 本 昭 一	
	<b>【経 済 理 論】</b>					
5501	経 済 学 史	3・4	選	4	森 茂 也	
5502	計 量 経 済 学	3・4	選	4	近 藤 仁	隔年 (本年度休講)
5503	経 済 変 動 論	3・4	選	4	田 原 昭 四	
5504	厚 生 経 済 学	3・4	選	4	水 谷 重 秋	隔年 (本年度休講)
5505	数 理 経 済 学	3・4	選	4	皆 川 正	隔年
5507	日 本 経 済 論	3・4	選	4	花 井 敏	隔年
5508	近 代 経 済 学 史	3・4	選	4	中 矢 俊 博	隔年 (本年度休講)
	経 済 理 論 特 殊 講 義					
5511	「企業金融の理論」	3・4	選	4	倉 澤 資 成	夏期集中
	<b>【国 際 経 済 学】</b>					
5521	国 際 経 済 学	3・4	選	4	山 田 正 次	
5522	地 域 経 済 論	3・4	選	4		隔年 (本年度休講)
5523	開 発 経 済 学	3・4	選	4	林 尚 志	隔年 (本年度休講)
5524	国 際 金 融 論	3・4	選	4	荒 井 好 和	隔年
5525	国 際 経 済 関 係 論	3・4	選	4	織 田 重 治	
5526	国 際 政 治 経 済 論	3・4	選	4	渡 邊 頼 純	隔年
	国 際 経 済 学 特 殊 講 義					
5527	「外国為替と国際金融」	3・4	選	4	堀 晃 明	

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
	【経済政策】					
5542	財 政 学	3・4	選	4	末 重 正 行	
5543	金 融 論	3・4	選	4	荒 井 好 和	
5544	社 会 保 障 論	3・4	選	4	大谷津 晴 夫	隔年
5545	産 業 組 織 論	3・4	選	4	渡 辺 悌 爾	隔年
5546	勞 働 經 済 学	3・4	選	4	村 松 久良光	隔年（本年度休講）
	【経済史】					
5562	日 本 經 済 史	3・4	選	4	須 磨 千 穎	
5563	西 洋 經 済 史	3・4	選	4	櫻 井 健 吾	隔年（本年度休講）
	【価値の経済学】					
5581	經 済 倫 理 学	3・4	選	4	橋 本 昭 一	隔年
5582	經 済 学 方 法 論	3・4	選	4		（本年度休講）
5583	經 済 社 会 哲 学	3・4	選	4		（本年度休講）
5584	經 済 思 想 史	2・3・4	選	4	橋 本 昭 一	
5585	經 済 体 制 論	3・4	選	4	家 本 博 一	隔年（本年度休講）
	価値の経済学特殊講義					
5586	「体制転換の政治経済学」	3・4	選	4	福 田 敏 浩	夏期集中
	経済学外国語科目					
5621	經 済 学 英 語 講 義 「ビデオで学ぶ経済英語」	2・3・4	選	4	花 井 敏	
5622	經 済 学 英 語 講 義 「Introduction to Inter- national Political Eco- nomy」	2・3・4	選	4	渡 邊 頼 純	
5623	經 済 学 英 語 講 義 「Economic Develop- ments in the World」	2・3・4	選	4	K. Easley	
5624	經 済 学 英 語 講 義 「English for Economics」	2・3・4	選	4	W. F. Ritchie	
5601	外 書 講 読（英書）	2・3・4	選	4	水 谷 重 秋	
5602	外 書 講 読（英書）	2・3・4	選	4	皆 川 正	
5603	外 書 講 読（英書）	2・3・4	選	4	林 尚 志	

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
5615	外書講読(仏書)	2・3・4	選	4	渡邊頼純	
5616	外書講読(独書)	2・3・4	選	4	櫻井健吾	
5550 5551	時事英語 1, 2	2・3・4	選	4	廣田里子	
5661	ビジネス英語	2・3・4	選	4	奥野賢造	
5662	ビジネス英語	2・3・4	選	4	W. F. Ritchie	
5663	ビジネス英語	2・3・4	選	4	K. Easley	
関連科目						
5811 5812	会計原理 1, 2	1・2・3・4	選	4	白木俊彦	
5821	財務会計論	2・3・4	選	4	藤井達敬	
5765	経営学総論	2・3・4	選	4	岸田民樹	夏期集中+後期
6201	経営組織論	2・3・4	選	4		(本年度休講)
5841	オペレーションズ・ リサーチ概論I	2・3・4	選	2	澤木勝茂	前期
5842	オペレーションズ・ リサーチ概論II	2・3・4	選	2	澤木勝茂	後期
5766	経営労務論 1	2・3・4	選	4	藤原道夫	
5767	経営労務論 2	2・3・4	選	4	井上詔三	前期(週2回)
5773	経営財務論 1	3・4	選	4	加藤清	
5774	経営財務論 2 (英語)	3・4	選	4	M. Bremer	後期(週2回)
5775	マーケティング論	3・4	選	4	中田善啓	隔週
5771	経営史	3・4	選	4	粕谷誠	
5772	企業論	3・4	選	4	成正達彦	
5785	情報処理概論 (コンピュータ・リテラシー)1	3・4	選	4	山田進	
5786	情報処理概論 (コンピュータ・リテラシー)2	3・4	選	4	村本正生	
5787	情報処理概論 (Fortran)	3・4	選	4	井垣伸子	夏期集中

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
5788	情報処理概論 (Cobol)	3・4	選	4	山田 進	(本年度休講)
5789 5790	情報処理概論 (Pascal) 1, 2	3・4	選	4	村本 正生	
6304	計算機概論	3・4	選	4	穴太 克則	(本年度休講)
5835	民法 I 1	2・3・4	選	4	柳澤 秀吉	
5836	民法 I 2	2・3・4	選	4	本城 武雄	
5871	行政法	3・4	選	4	市橋 克哉	
5845	民法 II	3・4	選	4	松倉 耕作	
5851	商法 I	3・4	選	4	篠田 四郎	
5855	商法 II	3・4	選	4	福島 洋尚	
5861	労働法	3・4	選	4	唐津 博	
5865	経済法	3・4	選	4	谷原 修身	
自由科目						
現代産業事情						
5881 5882	「損害保険事情」	3・4	自	2	菊名 俊寛	前期 後期
5883 5884	「総合商社事情」	3・4	自	2	奥野 賢造	前期 後期
5885 5886	「自動車産業事情」	3・4	自	2	願興寺 皓之	前期 後期
5887 5888	「電機産業事情」	3・4	自	2	若林 直樹	前期 後期
5889 5890	「都市銀行事情」	3・4	自	2	高木 夏樹	前期 後期
1803	日本史概説	3・4	自	4	新井 喜久夫	
1804	世界史概説	3・4	自	4	R. Szipp	
1834	法学概論	3・4	自	4	岡田 泉 工藤 祐巖	前期 後期

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
6901	職業指導1(教職用)	3・4	自	4	藤原道夫	「経営労務論」で充当
6902	職業指導2(教職用)	3・4	自	4	井上詔三	「経営労務論」で充当
	<b>随意科目</b>					
5901	経済原論演習	2・3・4	随	2	藤本正富	前期
5902	(経済原論Ⅰ)1, 2					
5911	経済原論演習	2・3・4	随	2	藤本正富	後期
5912	(経済原論Ⅱ)1, 2					

## 経済学部関係科目

### 講義概要

- 5101 演習 I (必・1年次・4単位・通年) 近藤 仁  
 最近の物価の動向、消費税の影響や内外価格差問題あるいは物価安定策についての問題を、ミクロ経済学とその背景にある現実経済との関係から考察する。  
 また、コンピュータ・プログラム言語 (FORTRAN) の基礎を学習し、現実のデータを分析する手法を身につける。  
 テキスト：経済企画庁物価局 『物価レポート'93』(経済企画協会, 1993)  
 情報処理教育研究会 『FORTRAN77』(泉文堂, 1989)
- 5102 演習 I (必・1年次・4単位・通年) 水谷 重秋  
 [現代経済・社会入門]  
 ゼミを数人ずつのグループに分け、さまざまな経済・社会問題についてグループごとに研究させ、発表・討論させる。
- 5103 演習 I (必・1年次・4単位・通年) 村松 久良光  
 [現代日本経済入門]  
 経済学を学ぶにさいして、ダイナミックに変動している現代の日本経済および環境問題などの今日の問題を対象として、経済学に対する問題関心を高めることをねらいとする。  
 ゼミのやり方：テキストの章から関心のある章をひとつ選んで、そのテーマごとに4、5人の班を編成し(同じテーマの班が複数でもよい)、グループ討論、資料収集、発表そして終了論文をまとめる。夏期の書評もテーマに沿った本を選ぶ。  
 テキスト：『ゼミナール日本経済入門』(日本経済新聞社、最新版)  
 資料：『日本経済新聞』ほか  
 合宿：夏期に二泊三日。チーム発表を行う。  
 評価：ゼミへの参加の程度、終了論文。
- 5104 演習 I (必・1年次・4単位・通年) 櫻井 健吾  
 テーマ：都市論  
 テキスト：芦原義信『街並の美学』岩波書店。
- 5105 演習 I (必・1年次・4単位・通年) 杉山 俊治  
 わが国経済の当面する問題を取りあげ、その考察を通じて経済理論の基礎的知識

とその応用のための広い視野の獲得をめざす。取りあげる問題とテキストは未定だが、与えられた分担と課題について各自または各グループに報告を求め討論する。

5106 演習 I (必・1年次・4単位・通年) 須磨千顕

18世紀における江戸幕府の経済政策の内容について、『御触書集成』『徳川禁令考』などの江戸幕府法令集所収の史料を中心に編集した史料集をテキストに用い、時代相を関連させながら考究する。

5107 演習 I (必・1年次・4単位・通年) 程島次郎

〔現代企業入門〕

経済学や経営学を学ぶ上で、実際の経済活動や企業経営に関する知識は重要である。しかし、新入生の企業に関する知識は貧しい。この演習では、現代企業の実態を学ぶことにより、経済学や経営学への関心を高め、問題意識を養うことを目的とする。

テキストには、『ゼミナール現代企業入門』（日本経済新聞社、最新版）を使用するが、他に最近の現代企業の実態を伝える資料も利用する。

5108 演習 I (必・1年次・4単位・通年) 家本博一

〔旧ソ連・東欧における「脱社会主義」への道〕

〈目的〉

- (1)旧ソ連・東欧における社会主義建設の「正統性」(legitimacy)が、なにゆえ危機に陥り、自己崩壊したのかについて理解を深めること。
- (2)経済学の基礎知識を用いて、中央集権制計画経済についての論議を展望すること。

〈テキスト〉

\*家本博一著『ポーランド「脱社会主義」への道』、名古屋大学出版会、1994年1月。

〈参考書〉

\*ヤン・ヴィニェツキ著、福田亘、家本博一、永合位行訳『ソ連型経済はなぜ破綻したか』

〈その他〉

- (1)希望者が多数であれば、学年末にロシア・東欧方面への研修旅行を実施する。
- (2)課題として、夏期休暇中の書評、学年末の修了論文を課す。
- (3)履修者をいくつかのグループに分けて、ロシアと東欧各国の事情について共同研究を進めてもらう。

5109 演習 I (必・1年次・4単位・通年) 中矢俊博

過去の偉大な経済学者を何人かとりあげ、彼らが何を考え、何をおこなったのか考察してみる。とりあえず、アダム・スミス、マルサス、J・S・ミル、マーシャル、

J・M・ケインズの5大経済学者をおさえる作業を、演習参加者とともに進めていきたい。

5110 演習Ⅰ (必・1年次・4単位・通年) 林 尚 志  
〔日本の経済援助のあり方〕

上記テーマに関する問題意識を深め、その過程で生きた経済学を学ぼうと考えている学生を対象とする。

前半は下記テキストを用いて、日本が発展途上国に対して行っている経済援助活動、とりわけODA（政府開発援助）について現状を学ぶ。3-4人の班ごとに各章を担当し、発表を行う。夏季休暇中には、日本の経済援助に関する文献リストの中から、自らが興味を持ったものを1冊選び、書評を作成する。後半は、班を再編成し、班全員の書評を出発点としながら班別に「日本の経済援助体制の問題点および今後の改革案」をまとめて対抗討論会を行い、事前準備、討論論旨、チームワークの3点について優劣を競う。

テキスト：久保田 勇夫編『Q&AわかりやすいODA』（ぎょうせい、1992）

5201 演習Ⅱ (必・2年次・4単位・通年) 花 井 敏

少人数（4、5人ほど）のグループに分け、予め指定した、あるいはグループで選んだ課題について、グループごとに具体的な成果の作成に至るまでのプロセスを学ぶ。

5202 演習Ⅱ (必・2年次・4単位・通年) 村 松 久良光

テーマ：雇用の仕組みに関する国際比較

・日本企業が海外に本格的に進出するにつれて、日本の雇用の仕組みを他国と比較しながら正しく理解し、英語で説明する必要がますます高まってきた。

今回は、ドイツ、米国、日本の、不況下におけるリストラに伴う雇用調整のやり方、雇用保障の仕組みについて、以下の文献を読みながら学んでいきたい。

Abraham, K. G and Houseman S. N *Job Security in America-Lessons from Germany*, 1993

Koike, kazuo *Understanding Industrial Relations in Modern Japan*, Macmillan Press, 1988

・ゼミの進め方と評価：時に班学習をするが、ふだんはひとり一文ずつ訳し、毎回全員に当てる。前後期の試験とゼミへの参加度で評価。

5203 演習Ⅱ (必・2年次・4単位・通年) 織 田 重 治  
〔国際経済関係論〕

J. Spero, *The Politics of International Economic Relation*, G. Allen & Unwin,

1985をテキストとして使用、並行して各自の自由選択で地域研究を行う。

5204 演習Ⅱ (必・2年次・4単位・通年) 櫻井健吾

テーマ：西洋経済史

テキスト：リグリー『エネルギーと産業革命』(同文館、1992)

5205 演習Ⅱ (必・2年次・4単位・通年) 末重正行

下記の文献を用いて「政府の所得再分配政策」「租税の仕組み」などについて学ぶこととする。

E. K. Browning et al, "Public Finance and Price System." 3rd, ed. Macmillan Publishing Company. 1987.

演習は各人が担当箇所を訳し、正訳をまとめることとする。ゼミ活動については協議のうえ決定する。

5206 演習Ⅱ (必・2年次・4単位・通年) 須磨千穎

〔本多利明の経済思想〕

江戸時代後期の経世家本多利明の経済思想の内容を、彼の著者「経世秘策」「西域物語」などを講読することを通じて研究討議する。

5207 演習Ⅱ (必・2年次・4単位・通年) 田原昭四

〔日本経済の景気変動〕

日本経済の経済各部門で発生する景気変動のメカニズムの理論と実態を研究する。

テキスト：金森久雄・土志田征一編『景気の読み方』(有斐閣、1991)

5208 演習Ⅱ (必・2年次・4単位・通年) 家本博一

〔ロシア・東欧における「脱社会主義」の体制転換〕

〈目的〉

(1) ロシア連邦と東欧各国(ポーランド、ハンガリー、チェコ)における市場経済化の体制転換過程について理解を深めること。

(2) 「脱社会主義」過程の基本性格と特徴について理解を深めること。

(3) 経済学の知識を用いて、中央集権制計画経済の欠陥、不備を明らかにすること。

〈テキスト〉

(1) 家本博一著『ポーランド「脱社会主義」への道』、名古屋大学出版会、1994年1月。

(2) ヤン・ヴィニェツキ著、福田亘、家本博一、永合位行訳『ソ連型経済はなぜ破綻したか 東欧に見るその「歪んだ世界」』(多賀出版、1991年2月)

〈その他〉

(1) 上記二冊のテキストを使用して、各人の報告とそれに基づく討論を中心に進める。

- (2)夏期休暇中での書評に加えて、調査報告を二回提出していただく。調査報告の内容については、演習開始後に説明する。
- (3)履修者の希望があれば、学年末にロシア・東欧方面への研修旅行を実施する。

**5209 演習Ⅱ (必・2年次・4単位・通年) 山田正次**  
〔国際経済入門〕

下記のテキストを用いて、日本の経済が国際経済の動きとどのようななかかわりをもっているかを、考える。

テキスト：伊藤元重『ゼミナール国際経済入門』（日本経済新聞社）

**5210 演習Ⅱ (必・2年次・4単位・通年) 林尚志**  
〔“教養の経済学”マスターゼミナール〕

「教養の経済学をていねいに復習しながら、経済原論の授業をきちんと理解できるようにになりたい」と考えている学生を対象とする。

具体的には、

- (1) 6人1組程度で班を組み、当番にあたった班は全員で協力して（下記テキストに基づいて出される）“その週の問題”を解いてくる。
- (2) 授業中は、担当班が（各問2名が責任を持ち）黒板を用いて、みんなに問題の解説を行う。
- (3) 担当班は、説明後、みんなからの質問、並びに先生からのシビアな質問に対して、協力して答える。
- (4) みんなは、4週間毎に行われるテストに備えて、気合いを入れて説明を聞き、不明の点は担当班に遠慮なく質問する。
- (5) ただし、経済原論の授業進度と合うように、配慮を行う。

テキスト：伊藤元重著『入門経済学』（日本評論社、1988）

**5251 経済原論Ⅰ (必・2年次・4単位・前期) 近藤仁**  
〔ミクロ経済学〕

市場における価格決定機構の分析や、消費者・生産者という経済主体の行動の分析についての基礎理論を講義する。

テキスト：多和田眞編著『経済学講義』（中央経済社、1991）

**5255 経済原論Ⅱ (必・2年次・4単位・後期) 村松久良光**  
〔マクロ経済学〕

実質GNP、失業、インフレなどの決定と変動を扱うマクロ経済学の基本的な理論をテキストにしたがって講義する。

テキスト：授業は後期なので、9月に指示する。必ず買うこと。

評価：定期試験と、ほぼ週1回行う小テストまたは意見や質問による授業参加度を考慮する。

中間試験日：11月11日（金）10時40分から

**5301 演習Ⅲ（必・3年次・4単位・通年）**                      **花井 敏**  
〔日本経済のグループ研究〕

少人数（4、5人ほど）のグループに分け、予め指定した、あるいはグループで選んだ課題についてグループごとに具体的な成果の作成に至るまでのプロセスを学ぶ。

**5302 演習Ⅲ（必・3年次・4単位・通年）**                      **近藤 仁**  
〔計量経済分析〕

現実のデータを基礎に経済的な仮説を検証する手法を研究すること、およびコンピュータを用いて実証的に分析することが計量経済学の学問領域である。第3年次では、前期に計量経済分析の基礎的理論を修得し、後期には計量分析用コンピュータ・ソフトウェア「TSP」を利用した小グループによる実証分析（『経済学生論集』に投稿）を通して、分析結果の評価方法や実際の分析において生じる問題の解決方法を学習する。

**5303 演習Ⅲ（必・3年次・4単位・通年）**                      **水谷 重秋**  
〔公害と環境の政治経済学〕

身近な公害問題から地球規模の環境破壊問題までさまざまな公害・環境破壊問題を取り上げ、その根源的な原因を探りつつ、望ましい解決法を考える。

**5304 演習Ⅲ（必・3年次・4単位・通年）**                      **村松 久良光**  
〔労働経済学〕

・今年度のテーマ：「仕事のやりがい、処遇と労働組合」

「会社人間」や「働きすぎ」、そして最近ではホワイトカラーの人員整理など、日本の職場での働き方や雇用確保が問題になっている。

実際に働いている人はどう思っているのだろうか。

このようなテーマを念頭に置き、私に関わった調査で行った実際の個人アンケートデータを材料に、アンケートのクロス集計などをコンピュータで行う手法を学ぶ一方、「仕事に関する経済学」を勉強していきたい。

・テキスト：『新版 SPSSX 1 基礎編』（図書館の本を利用）

拙稿「仕事のやりがいと労働組合」橋木俊詔編『労働組合の経済学』（東洋経済新報社、1993）の第5章。

小池和男『仕事の経済学』（東洋経済新報社、1991）

- ・ゼミの進め方：3～4人のグループを組んで学習、発表。
- ・合宿：3年の夏と4年になる前の春。
- ・ゼミ生は「経済統計学」、「データ解析」、「経営労務論」を受講することが望ましい。
- ・成績評価：ゼミへの参加、発表、修了論文。

**5305 演習Ⅲ (必・3年次・4単位・通年) 櫻井健吾**

テーマ：西洋経済史  
産業革命・工業化に関する基本文献の輪読

**5306 演習Ⅲ (必・3年次・4単位・通年) 末重正行**

政府部門の経済について基礎的理解がえられるようテキストを用いて学習し、関連問題については、報告者の報告を中心に資料を集めて討論することとする。  
ゼミ参加者は「財政学」を受講すること。

**5307 演習Ⅲ (必・3年次・4単位・通年) 杉山俊治**

演習テーマ：経済政策思想  
テキスト：L. Robbins, Political Economy : Past and Present.—A Review of Leading Theories of Economic Policy, 1976, Macmillan.  
なお、サブ・テキストとして、猪木武徳『経済思想』1988 (岩波モダン・エコノミックス) を用いる。  
内容：現代の経済社会をめぐる思想や諸問題との関連に立って、これまでの伝統的な経済政策論を「政治経済学」の広い視野から再吟味する。

**5308 演習Ⅲ (必・3年次・4単位・通年) 須磨千穎**

大久保利謙編『近代史史料』をテキストとして使用し、所収史料を読みながら、幕末～明治中期の経済史・政治史について考究する。

**5309 演習Ⅲ (必・3年次・4単位・通年) 田原昭四**

〔景気変動の理論と分析〕  
日本経済を中心として、景気変動の理論的考察と実証的分析の方法について研究する。  
テキスト：横溝雅夫編『景気循環で読む日本経済』(日本経済新聞社、1991)

**5310 演習Ⅲ (必・3年次・4単位・通年) 荒井好和**

金融および国際金融に関する適当な入門書を読了した後、H. ミンスキー (吉野・浅田・内田訳) 『金融不安定性の経済学——歴史・理論・政策——』多賀出版

1989年、を読む予定です。金融自由化を含めて、今後の金融システムのあり方を考えるうえで参考になる書物です。

**5311 演習Ⅲ (必・3年次・4単位・通年) 程島次郎**  
〔金融経済の計量分析〕

基本的テキストを用いて金融経済学を学び、その後金融経済の最近の統計データを調査・分析したり、理解しやすい論文を読んでいきたい。卒業論文では、金融経済と関係したデータの分析の部分を加えてもらいます。

**5312 演習Ⅲ (必・3年次・4単位・通年) 中矢俊博**  
〔ケインズ経済学入門〕

下記のテキストを用いて、ケインズ経済学について学ぶ。

マーク・ブローグ著 中矢俊博訳

『ケインズ経済学入門』(東洋経済新報社、1991)

**5313 演習Ⅲ (必・3年次・4単位・通年) 大谷津晴夫**

社会保障論がこの演習のテーマですが、今年は特に家族の問題に焦点をあてて、「家族の経済学」関連の文献を集めて読んでいきます。家族の扶養機能と社会保障とを対照させる中で、社会保障の役割を改めて考察するつもりです。両者の代替関係と補完関係、さらには相互影響関係にスポットをあてます。

**5314 演習Ⅲ (必・3年次・4単位・通年) 渡邊頼純**  
〔国際政治経済学演習Ⅰ〕

現代の国際関係に現象する政治と経済の関連性・リンケージを体系的に分析する。具体的には通商摩擦を題材にして、その発生形態、原因、政治化のプロセス、紛争処理のパターン等を詳細に検討する。

テキストは、①伊藤元重『ゼミナール国際経済入門』(日本経済新聞社)、②兼光秀郎『国際経済政策—サミット・保護主義・ガットの世界—』(東洋経済新報社)、③Robert Gilpin, *The Political Economy of International Relations*, Princeton University Press, 1987を順に輪読する。前期に関連図書の本評論文(8,000字程度)、後期に卒業論文の計画書(文献目録を含む)の提出をアサインメントとする方針である。

**5315 演習Ⅲ (必・3年次・4単位・通年) 山田正次**  
〔国際経済学〕

国際経済学の方野の中で、特に為替レートと国際収支を中心とした国際金融に関する文献を用いて、グループごとの発表と質疑応答を行う。なお、サブゼミにおい

て、ゼミ生の希望する現代の国際経済の諸問題についても議論する。

- 5401 演習Ⅳおよび卒業論文（必・4年次・4単位・通年）花井 敏**  
各自の選択したテーマについて、研究報告と共同討議を重ね、卒業論文を作成する。
- 5402 演習Ⅳおよび卒業論文（必・4年次・4単位・通年）近藤 仁**  
計量経済学のより一層の理論的研究を進めるとともに、実際の分析において生じる問題を解決する方法を学習し、充実した卒業論文を作成する。
- 5403 演習Ⅳおよび卒業論文（必・4年次・4単位・通年）水谷重秋**  
〔厚生経済学〕  
3年次に決定した各自のテーマについて個別発表と討議を重ね、卒業論文を完成させる。
- 5404 演習Ⅳおよび卒業論文（必・4年次・4単位・通年）村松久良光**  
〔労働経済学〕  
卒業論文指導
- 5405 演習Ⅳおよび卒業論文（必・4年次・4単位・通年）織田重治**  
各自の選択したテーマについて、研究報告と共同討議を重ね、卒業論文を作成する。
- 5406 演習Ⅳおよび卒業論文（必・4年次・4単位・通年）櫻井健吾**  
卒論発表
- 5407 演習Ⅳおよび卒業論文（必・4年次・4単位・通年）末重正行**  
演習Ⅲの理解の上に、各自が選んだテーマ（例えば財政制度、租税各論、政府支出、公債、財政政策など）について個別的報告と討議を行い、卒業論文の指導を行う。
- 5408 演習Ⅳおよび卒業論文（必・4年次・4単位・通年）杉山俊治**
- 5409 演習Ⅳおよび卒業論文（必・4年次・4単位・通年）須磨千穎**  
前期は演習Ⅲからの継続で大久保利謙編『近代史史料』をテキストに明治前期の政治史・経済史について研究する。後期は卒業論文の内容を順次発表してその充実をはかる。

5410 演習Ⅳおよび卒業論文（必・4年次・4単位・通年）田原昭四  
〔景気変動の実証分析〕

景気変動に関連して各自が選定したテーマについて、共同討議と卒業論文作成を指導する。

5411 演習Ⅳおよび卒業論文（必・4年次・4単位・通年）荒井好和  
卒業論文の発表。

5412 演習Ⅳおよび卒業論文（必・4年次・4単位・通年）家本博一  
各履修者の研究報告を中心にして、卒業論文作成の指導を行う。

5413 演習Ⅳおよび卒業論文（必・4年次・4単位・通年）中矢俊博  
卒業論文の指導。

5414 演習Ⅳおよび卒業論文（必・4年次・4単位・通年）大谷津晴夫  
社会保障論をテーマにした卒論指導が中心になる。

5415 演習Ⅳおよび卒業論文（必・4年次・4単位・通年）渡邊頼純  
〔国際政治経済学演習Ⅱ〕

Robert Gilpin, *The Political Economy of International Relations*, Princeton University Press, 1987を引き続き輪読する。

卒業論文作成の準備としては、前期末までに参考文献について書評論文（文献サベイ）をまとめることを課題とする。

5416 演習Ⅳおよび卒業論文（必・4年次・4単位・通年）山田正次  
国際経済の分野で各自の選んだテーマについて、報告と討論を中心に卒業論文作成の指導を行う。

5501 経済学史（選・3・4年次・4単位・通年）森茂也

経済学史方法論から始め、主として英国古典派の経済成長論を中心に、経済学の承譜を講じる。

講義は各時代の経済学を内面的にとらえつつ、近代および現代の経済学のもつ限界・問題点を自覚して、現代の視点から過去の経済学の評価を行うことを通じて古典を現代に生かす道を模索する。

使用テキスト：森茂也『古典派経済成長論の基本構造』（同文館、1992）（南山大学経済研究叢書）

5503 経済変動論 (選・3・4年次・4単位・通年) 田原昭四  
〔景気変動と日本経済〕

景気変動についての理論、政策、歴史を論述するとともに、日本経済および世界経済における景気変動の実証的分析を取り上げる。

5505 数理経済学 (選・3・4年次・4単位・4通年) 皆川正  
経済学を学ぶ上で必要とされる数学的手法と、その経済学への応用について講義をおこなう。できる限りやさしく説明するつもりである。

テキスト：『現代経済学』ヘンダーソン・クォント著、小宮隆太郎・兼光秀郎訳  
(創文社)

5506 経済統計学 (選・2・3・4年次・4単位・通年) 程島次郎  
経済統計学の基礎を実例をまじえて講義する。内容は、回帰分析とその応用である。数回の宿題とコンピュータを使った実習を行う。

テキスト：伴・中村・跡田著『エコノメトリックス』(有斐閣)

5507 日本経済論 (選・3・4年次・4単位・通年) 花井敏  
〔日本経済の発展と課題〕

前期は、明治期以降の日本経済の発展プロセスについて学ぶ。後期は、日本経済の現状と課題について講義する。

使用テキストは未定。

5511 経済理論特殊講義 (選・3・4年次・4単位・夏期集中)  
経営学部6271 倉澤資成

「経営学特殊問題」参照

5521 国際経済学 (選・3・4年次・4単位・通年) 山田正次

国際経済学の基礎論が、現実の国際経済取引をどう説明できるかを重視しながら講義する。個々の輸出あるいは輸入取引が、経済全体から見ると如何なる意味や効果を持つかを探り、モノのみならずカネの国際取引や政府の政策についても論究する。

(1)貿易のしくみ、(2)輸出について、(3)輸入について、(4)自由貿易の論拠、(5)貿易と所得分配、(6)交易条件、(7)保護貿易政策、(8)国際収支とその意味、(9)経常収支と国民所得、(10)為替レートについて、(11)資本の国際移動

5524 国際金融論 (選・3・4年次・4単位・通年) 荒井好和  
外国為替市場の制度的分析、為替レート(直物および先物レート)の決定要因お

よび国際収支調整過程等の理論的分析を通して国際金融論の基礎を学ぶ。使用テキストは未定。なお、受講者は別途開講される国際経済学、金融論をあわせて履修することが望ましい。

**5525 国際経済関係論 (選・3・4年次・4単位・通年) 織田重治**

世界経済の諸問題を国際政治との関連でとらえる。主な内容は(1)国際社会の構造と原理、(2)世界システムの過去と現在、そして将来、(3)国際機構(4)中東と石油など地域研究。

**5526 国際政治経済論 (選・3・4年次・4単位・通年) 渡邊頼純**  
〔世界市場と国民国家〕

第二次世界大戦後の国際経済秩序の根幹をなすガット（関税貿易一般協定）に焦点を当て、通商交渉の歴史と貿易外交の態様を分析する。その中で国際関係に現象する政治と経済の連繫（リンケージ）を検討する。受講者は「国際経済学」をすでに履修しているか、少なくとも本講義と並行して学習することが望ましい。

テキスト：高瀬保編著『ガットとウルグァイ・ラウンド』（東洋経済新報社、1993年12月）

参考文献：川田保『国際政治経済学をめざして』（御茶の水書房、1989年他）

**5527 国際経済学特殊講義 (選・3・4年次・4単位・通年)**

堀 晃 明

経営学部6253「国際経営事情」参照

**5541 経済政策論 (選・2・3・4年次・4単位・通年) 杉山俊治**

経済政策論の方法論の問題、経済政策思想の展開、経済政策の主体と政策形成、市場と政府の役割について考察したのち、現在の主要な経済政策の課題を各論的に取りあげる。テキストとして主として下記書物を用いるが、他の参考文献をその都度指示する。

テキスト：新庄・山口・丸谷・足立（編）『現代経済政策論入門』（有斐閣ブックス、1991）

なお、経済学部以外からの受講者は「経済学」または「経済原論」をすでに履修していることが望ましい。

**5542 財政学 (選・3・4年次・4単位・通年) 末重正行**

政府の経済活動を、1. 政府支出、2. 租税収入、3. 公債、4. 財政の経済安定化機能の側面から論ずる。

経済学部以外からの受講者は「経済学」または「経済原論」を履修していること

が望ましい。

**5543 金融論 (選・3・4年次・4単位・通年) 荒井好和**

金融の分野では、実際の金融制度や金融市場の仕組みに関する知識が不可欠ですが、この講義では、そうした実際の知識と理論との連携を図りながら、現実の金融諸問題について理解を深めることを目的とします。具体的には、金融市場の機能・役割、金融機関の行動、貨幣供給のメカニズム、金融政策などのテーマを中心にとりあげる予定です。

テキスト：千田純一・相山孝金編著『現代金融入門』（中央経済社，1993）

**5544 社会保障論 (選・3・4年次・4単位・通年) 大谷津晴夫**

社会保障の仕組みを中心に講義するが、理論的問題にも触れる。医療や年金の問題を中心に取り上げることになるが、その他の社会保障制度にも論及する。

経済学的アプローチだけにこだわらず、学際的に取組む中で、現代社会の社会保障問題の置かれた位置と多元性が浮き彫りにされるようにしたい。

**5545 産業組織論 (選・3・4年次・4単位・通年・隔週) 渡辺悌爾**

ミクロ経済学の応用によりアメリカで発展してきた産業組織論は近年更に精緻化されてきた。講義の範囲は、正統派的なその領域を多少越えて日米などの現実的なトピックスを含めた形で進めたい。

講義プログラムは概略、以下の通り。

- (1) 企業組織と産業組織
- (2) 日本の企業組織と産業組織
- (3) 正統派の産業組織論とアメリカの反トラスト政策
- (4) 新しい産業組織論の展開
- (5) 近年の民営化・規制緩和論について

参考図書・資料等は適宜指示する。

**5550 時事英語1、2 (選・2・3・4年次・4単位・通年)**

**5551**

**廣田里子**

ジャパン・タイムズをはじめ、ニュース・ウィーク、タイム、エコノミストなど内外の新聞、雑誌などから、日本に関連のある記事を取りあげて読み、これらの記事を通して国際社会の中で日本の進むべき方向を探り、日本の経済、社会、政治のあり方を考える。同時に、時事英語表現の習熟とhearing力の向上にも意を用いる。履修にあたって、学生諸兄姉は日々の新聞報道、テレビ・ニュースを逃がさず読み、または聞くよう心がけること。

5561 経済史総論 (選・2・3・4年次・4単位・通年)

前期 櫻井健吾  
後期 須磨千穎

〔前期〕

- I. 経済史への入門的序説：人類史における産業革命の意義、経済成長・工業化などの概念の解明など。
- II. 人口と工業化：個別テーマとして。

〔後期〕

日本経済史の研究が近代的な学問として成立するに至る過程と、その後の発達の様相について、近代日本の経済史と関連させながら講義する。

5562 日本経済史 (選・3・4年次・4単位・通年) 須磨千穎

江戸時代の経済史。いわゆる幕藩制社会の基本構造、当時の諸産業の様相、商品流通の展開、幕藩制の崩壊に至る諸要因とその過程など。

5581 経済倫理学 (選・3・4年次・4単位・通年) 橋本昭一

いかなる経済行動を良きものとし、いかなる経済政策を避けるべきものとするか、それを議論するためにはなにがしかの倫理的判断が必要である。経済学が政治や宗教からの圧迫や影響を排して独立の科学たろうとする時常に立ちふさがり、振り払う必要があるのが、「経済と倫理」の問題である。

アダム・スミス、アルフレッド・マーシャル、ジョン・M・ケインズの三人の英国人経済学者をとりあげ、例えば彼らが「談合」について意見を求められたらどう答えたかを一緒に考えてみたい。

5584 経済思想史 (選・2・3・4年次・4単位・通年) 橋本昭一

〔国家の繁栄と人間の幸福〕

①16世紀以降ヨーロッパで「経済的」考察が一般化する背景②政治的な絶対主義の支配下、経済的考察が貿易理論、貨幣理論を中心とする「重商主義」として特徴づけられてゆく過程とその背景③絶対主義の崩壊とともに変質してゆく重商主義を代表するヒューム・スチュアートの経済思想④重商主義批判の体系としてのケネー、スミスの経済思想⑤イギリス古典派体系の形成とその崩壊過程（以上第1部）⑥19世紀中葉における歴史主義、社会主義⑦近代経済学の先駆者と限界革命⑧近代経済理論の完成者としてのワルラスとマーシャル⑨20世紀における経済学の諸潮流とその特徴（以下第2部）

5586 価値の経済学特殊講義 (選・3・4年次・4単位・夏期集中)

福田敏浩

〔体制転換の政治経済学〕

〔講義概要〕 ロシア革命からソ連の崩壊・新生ロシアの登場までを視野に収めつつ、旧ソ連・東欧諸国における計画経済体制の建設・改革・転換に関する経済政策の実態を概観する。この講義を通して自由および効率の価値は、私有と市場なしには実現できないということを論証してみたい。

〔講義計画〕

1. ソ連型管理社会主義——仕組み・特質・企業行動——
2. 経済体制改革——部分的改革と全面的改革——
3. ハンガリーの市場社会主義——その理論と実際——
4. ペレストロイカの体制改革——ゴルバチョフの世直し政策——
5. 東欧革命とソ連の消滅——社会主義の失敗——
6. 中欧における体制転換政策——社会主義から資本主義へ——
7. ロシアにおける体制転換政策——難航するエリツィン改革——

〔教科書〕

福田敏浩『比較経済体制論原理』(晃洋書房)

福田敏浩『現代の経済体制論』(晃洋書房)

〔参考書〕

野尻・丹羽・嵐田・福田『ひとつのドラマの終わりー共産主義の倒壊ー』(晃洋書房)

5592 経済データ処理入門1、2 (選・1・2・3・4年次・2単位・前期)

近藤 仁

5594 経済データ処理入門3、4 (選・1・2・3・4年次・2単位・後期)

近藤 仁

論文やレポート作成に役立つ文章の推敲が簡単に行える日本語ワープロの基礎を「アシストワード」を用いて学習し、平均や分散あるいは頻度といった統計的データ分析の初歩的手段として、また表やグラフを用いてのデータ分析により経済の動きに関する理解を深めるとともにプレゼンテーションの有用な手法として、表計算・グラフソフト「アシストカルク」利用の基礎を、パソコンを用いて学習する。

5601 外書講読(英書) (選・2・3・4年次・4単位・通年)

水谷重秋

〔環境経済学〕

〈テキスト〉

R. Dorfman and N. Dorfman, eds., *Economics of Environment: Selected Readings*, 3rd. ed., New York: W. W. Norton, 1993.

上記テキストから適当な論文を選び輪読する。

5602 外書講読 (英書) (選・2・3・4年次・4単位・通年)

皆川 正

経済学に関する英語のテキスト (未定) を選んで、それらを輪読する。

5603 外書講読 (英書) (選・2・3・4年次・4単位・通年)

林 尚志

英語文献を読む能力を養いながら、途上国が経済開発を試みる中で直面する“持続可能な開発”の問題を考える。

まず、環境、資源経済学のテキストである文献1の何章かを用いて、経済学のこの問題に対するアプローチの仕方を学ぶ。そして時間が許す限り、1992年の世界銀行開発報告である文献2を読み、途上国が直面している問題の現状、並びに今後の政策課題について考える。

逐語訳ではなく内容把握を重視し、文献の内容に即して予め用意された質問に答えてもらう形で授業を進める。この問題に関心を持ち、予習を行う意欲のある学生を歓迎する。

1. Tom Tietenberg, *Environmental and Natural Resource Economics*, 3rd ed., 1992, Harper Collins Publishers.
2. World Bank, *World Development Report 1992 : Development and Environment*, 1992, Oxford University Press.

5615 外書講読 (仏書) (選・2・3・4年次・4単位・通年)

渡邊 頼純

〔フランス語で学ぶ国際政治〕

国連公用語としても重要なステータスを与えられているフランス語を用いて国際関係の経済的側面を中心に学習する。基本的な語句に親しむ為に、B. Cresson, *Introduction du français économique*, Didierをテキストとして使用する。

オーディオ・テープやビデオ等を用いてできるだけ平易で楽しく学べる授業にする意向なので、フランス語を第二外国語として選択した経済学徒にたくさん受講してもらいたい。

5616 外書講読 (独書) (選・2・3・4年次・4単位・通年)

櫻井 健吾

テーマ：19世紀ドイツの思想、政治、社会、経済。

テキスト：未定

大学院の受験にも対応できるような水準の文献を読んでいく予定。

5621 経済学英語講義 (選・2・3・4年次・4単位・通年)

花井 敏

[ビデオで学ぶ経済英語]

経済・ビジネス関係を英語でコミュニケーションするための糸口を与えること、これが本講義の目的である。書物には頼らずに、他の媒体(ビデオ)を積極的に使った講義を考えている。できるだけ小クラスにしたいので、英語に興味ある学生だけに対象を絞りたい。

5622 経済学英語講義 (選・2・3・4年次・4単位・通年)

渡邊 頼純

[Introduction to International Political Economy]

This course is designed to provide the students with basic knowledge on the functioning of the international economic system. The key principles under which the system operates shall be carefully examined throughout the course work. Those principles include, inter alia, MFN (most-favoured-nation treatment), national treatment and reciprocity. The international economic organizations to be focused are following ; GATT, IMF/IBRD(World Bank), UNCTAD, OECD. The movement of economic regionalism, the making of European Single Market in particular, shall also be subject for discussion.

Students are requested to be present at the class regularly and an active participation on the part of students is essential for the effective conduct of this course.

Reference Books : Joseph S. Nye jr. *Bound to Lead The Changing Nature of American Power*, Basic Books, 1990. J. Bhagwati, *Protectionism*, The MIT Press, 1988. J. Bhagwati & H. Patrigh, *Aggressive Unilateralism, America's 301 trade policy and the world trading system*, 1990. J. Schott, *Completing the Uruguay Round*, Institute for International Economics, 1990.

Relevant articles in *The Economist* are to be frequently used for reading.

5623 経済学英語講義 (選・2・3・4年次・4単位・通年)

K. Easley

[Economic Developments in the World]

A survey of developments in major world economies. Different kinds of capitalism will be identified and examined, and their relationship to the cultural values of particular countries will be explored.

5624 経済学英語講義 (選・2・3・4年次・4単位・通年)

W. F. Ritchie

[English for Economics]

This is a communication skills course in English for Economics.

Active participation in the classes is the key to success in the course

The classes offer opportunities to practice the four language skills in the order of their importance-listening, speaking, reading, writing.

Their focus, however, is on listening and speaking skills most needed by people in the field of economics.

We will study models for the main economic skills-explaining systems, describing trends, discussing performances, planning strategies,...

We will use authentic case studies and address intercultural questions.

The textbook for this class is *Business Objectives* (V Hollett, Oxford University Press 1991). Other materials are video and audio tapes and articles from newspapers and journals. This class is level 2 of a two-level course.

Level 1 is *Business English*, but is not a prerequisite.

5661 ビジネス英語 (選・2・3・4年次・4単位・通年) 奥野賢造

アメリカで出版された国際取引の入門書を教材として使い、国際取引の基礎を英語で修得する。併せて、

1. 副教材の貿易実務書によって、生きた実務面からの貿易英語を、
2. もう一冊の副教材によって、生きた取引上の英文手紙の書き方を、
3. 更に大手商社の実在する契約書や英語の新聞・雑誌などから実用の英語を、習得する。履修後には、たとえばロンドンのデパートに直接手紙を書いて買物をするなど身近な実利も期待出来る筈。

主要教科書：MacMillan社刊*BUSINESS, International Trade*

副教科書：日経文庫『貿易の実務』、『ビジネスマンのための英文手紙の書き方』

5662 ビジネス英語 (選・2・3・4年次・4単位・通年) W. F. Ritchie

This is a communication skills course in *Business English*.

Active participation in the classes is the key to success in the course

The classes offer opportunities to practice the four language skills in the order of their importance-listening, speaking, reading, writing.

Their focus, however, is on listening and speaking skills for the situations in

which office workers need to use English when dealing with English-speaking colleagues and customers.

We will study models for the key functional areas of business interaction-making contact, telephoning, following and giving presentations, participating in meetings, etc. We will use authentic business contexts and consider intercultural aspects of the business world.

The textbook for this class is *Business Objectives* (V Hollett, Oxford University Press 1991). Other materials are video and audio tapes and articles from newspapers and journals. This class is level 1 of a two-level course. Level 2 is *English for Economics*.

**5663 ビジネス英語 (選・2・3・4年次・4単位・通年) K. Easley**

The course will cover English communication skills in business contexts.

Fundamental business communication processes will be considered through examining a range of materials and situations. Different styles of writing will be dealt with, along with business vocabulary and topical issues relevant to the course.

**5765 経営学総論 (選・2・3・4年次・4単位・夏期集中+後期)**

岸田民樹

経営学部6104「経営学総論」参照

**5766 経営労務論1 (選・2・3・4年次・4単位・通年) 藤原道夫**

経営学部6116「経営労務論1」参照

**5767 経営労務論2 (選・2・3・4年次・4単位・前期〔週2回〕)**

井上詔三

経営学部6117「経営労務論2」参照

**5771 経営史 (選・3・4年次・4単位・通年)**

粕谷誠

経営学部6121「経営史」参照

**5772 企業論 (選・3・4年次・4単位・通年)**

成生達彦

経営学部6126「企業論」参照

5773 経営財務論 1 (選・3・4年次・4単位・通年) 加藤 清  
経営学部6131「経営財務論1」参照

5774 経営財務論 2 (英語) (選・3・4年次・4単位・後期〔週2回〕)  
M. Bremer  
経営学部6132「経営財務論2」参照

5775 マーケティング論 (選・3・4年次・4単位・隔週) 中田 善啓  
経営学部6136「マーケティング論」参照

5785 情報処理概論 (コンピュータ・リテラシー) 1  
(選・3・4年次・4単位・通年) 山田 進  
経営学部6305「情報処理概論〔コンピュータ・リテラシー〕1」参照

5786 情報処理概論 (コンピュータ・リテラシー) 2  
(選・3・4年次・4単位・通年) 村本 正生  
経営学部6306「情報処理概論 (コンピュータ・リテラシー) 2」参照

5787 情報処理概論 (Fortran) (選・3・4年次・4単位・夏期集中)  
井垣 伸子  
経営学部6307「情報処理概論〔Fortran〕」参照

5789 情報処理概論 (Pascal)  $\frac{1}{2}$  (選・3・4年次・4単位・通年)  
5790 村本 正生  
経営学部6309「情報処理概論〔Pascal〕1」参照  
6310「情報処理概論〔Pascal〕2」

5811 会計原理 1、2 (選・1・2・3・4年次・4単位・通年)  
5812 白木 俊彦

この講義では、企業を取り巻く利害関係者に提供する財務諸表が、どのような会計の仕組みにより作成されているかについて解説する。

講義では、財務諸表作成の基本である簿記と会計理論とを有機的に関連させながら演習も取り入れて進めていく。

簿記は、体系的に完成されたシステムであるので、講義に欠席すると内容が理解できなくなるので注意していただきたい。

テキスト：鎌田信夫編・著「現代簿記要説」(創成社)

その他、ワーキングペーパーを使用する。

5821 財務会計論 (選・2・3・4年次・4単位・通年) 藤井達敬  
経営学部6108「財務会計論2」参照

5835 民法I 1 (選・2・3・4年次・4単位・通年) 柳澤秀吉

5836 民法I 2 (選・2・3・4年次・4単位・通年) 本城武雄

5841 オペレーションズ・リサーチ概論I  
(選・2・3・4年次・2単位・前期) 澤木勝茂  
経営学部7101「オペレーションズ・リサーチ概論I」参照

5842 オペレーションズ・リサーチ概論II  
(選・2・3・4年次・2単位・後期) 澤木勝茂  
経営学部7102「オペレーションズ・リサーチ概論II」参照

5845 民法II (選・3・4年次・4単位・通年) 松倉耕作

5851 商法I (選・3・4年次・4単位・通年) 篠田四郎  
〔総則・商行為・並びに会社法〕

本年度の商法Iの範囲は、商法総則と会社法である。一年間の講義の30パーセント位を総則すなわち商法(企業法)の基礎の説明にあて、残り70%位を会社法とりわけ株式会社法にあてる。

(注意)

(1)受講生は六法(出版社は問わない)を持参すること。

(2)総則の講義のために、プリントを配布する。会社法の講義は次の教科書とプリントを使う。

(3)教科書 篠田四郎「現代企業法」II(法律文化社)

5855 商法II (選・3・4年次・4単位・通年) 福島洋尚

5861 労働法 (選・3・4年次・4単位・通年) 唐津博

雇用=労働はわれわれの社会生活の経済的基礎である。本講義では、この雇用=労働関係を法的側面から考察し、そこに生じる様々な問題の検討を試みる。具体的には、雇用=労働関係の形成(募集、採用)から、その展開、存続(配転、出向などの人事移動、企業再編と労働条件の変更、企業秩序と職場規律)、さらにはその

終了（退職、解雇）に至る雇用＝労働関係の全過程を対象として、これからを規律する法的ルールの現状を明らかにし、その課題を探る。時短（労働時間短縮）、過労死、セクシュアル・ハラスメント、外国人労働者の不法就労問題など、マスコミで話題になっている諸問題についても、法的な観点から検討したい。

テキスト、参考資料などについては、開講時に指示する。

**5871 行政法（選・3・4年次・4単位・通年） 市橋克哉**

国や地方公共団体など行政をめぐる法現象は、国民・住民の日常生活に密接な関連をもつものになっている。このような状況の中で、今日、行政法学は、憲法の諸原則と現代的要請という2つの課題への対応という視角から、新しい体系づくりに取り組んでいる。本講では、この問題意識に基づいて、行政法の基本原理と概念の見直しを行う。また、長年の課題であった行政手続法が昨年11月に制定されたので、これが行政法の諸問題に及ぼす影響についても検討する。

教科書：室井力編『現代行政法入門(1)〔新版第2版〕』（法律文化社）

参考書：室井力編『資料現代行政法1』（法律文化社）

**5881 現代産業事情（自・3・4年次・2単位・前期・後期）**

**菊名俊寛**

経営学部6401「現代産業論〔損害保険〕1」参照

6402「現代産業論〔損害保険〕2」

**5883 現代産業事情（自・3・4年次・2単位・前期・後期）**

**奥野賢造**

経営学部6403「現代産業論〔総合商社〕1」参照

6404「現代産業論〔総合商社〕2」

**5885 現代産業事情（自・3・4年次・2単位・前期・後期）**

**願興寺 皓之**

経営学部6413「現代産業論〔自動車〕1」参照

6414「現代産業論〔自動車〕2」

**5887 現代産業事情（自・3・4年次・2単位・前期・後期）**

**若林直樹**

経営学部6411「現代産業論〔電子電機〕1」参照

6412「現代産業論〔電子電機〕2」

5889 現代産業事情 (自・3・4年次・2単位・前期・後期) 高木夏樹  
5890

経営学部6415「現代産業論〔都市銀行〕1」参照  
6416「現代産業論〔都市銀行〕2」

5901 経済原論演習(経済原論Ⅰ)1、2  
5902 (随・2・3・4年次・2単位・前期)藤本正富

5911 経済原論演習(経済原論Ⅱ)1、2  
5912 (随・2・3・4年次・2単位・後期)藤本正富

本演習は「経済原論Ⅰ・Ⅱ」の講義を補強するためのものであり、主として練習問題を解くことを通じて講義で学んだ理論をより確実に身につけることを目的とする。「経済原論Ⅰ・Ⅱ」の試験に合格したい人は努めて本演習を受講することが望ましい。また公務員試験の受験をめざす人にも有益と考えられる。

1803 日本史概説 (自・3・4年次・4単位・通年) 新井喜久夫  
文学部開設共通自由科目1803「日本史概説」参照。

1804 世界史概説 (自・3・4年次・4単位・通年) R. Szipp  
文学部開設共通自由科目1804「世界史概説」参照。

1834 法学概論 (自・3・4年次・4単位・通年) 岡田泉  
工藤祐巖  
文学部開設共通自由科目1834「法学概論」参照。

6901 職業指導1(教職用) (自・3・4年次・4単位・通年)

6902 職業指導2(教職用) (自・3・4年次・4単位・通年)

藤原道夫  
井上詔三

経営学科6116、6117「職業指導」参照。